

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7
災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

港湾空港課 土肥美実

電話番号

0852-22-5228

事務事業の名称	海岸保全事業（港湾）	
目的	(1) 対象	港湾海岸背後の住民
	(2) 意図	侵食や高潮による海岸の被害を防止し、安全で安心して暮らせるようにする。
事業概要	港湾海岸背後の住民の生命、財産及び公共施設を海岸侵食による被害から防護するため、海岸保全施設を整備する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	海岸保全施設の整備率	目標値		97.4	98.7	99.4	100.0	%
	式・定義	海岸保全施設の実施済み延長／海岸保全施設の計画総延長	取組目標値						
			実績値	96.0	98.1	98.5			
			達成率	-	100.8	99.8	-	-	%
2	指標名	浸水想定区域面積	目標値		4.0	1.1	0.6	0.0	ha
	式・定義	海岸保全施設の整備により減少する浸水想定区域面積	取組目標値						
			実績値	9.0	4.0	1.1			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	301,302	413,749
うち一般財源 (千円)	26,715	47,690

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・久手港海岸では侵食が進んでいる箇所があり、離岸堤改良にH26年度着手。
- ・三隅港海岸では離岸堤の整備を進めてきたが、砂浜の回復を図るため、H27年度から突堤工事に着手。
- ・益田港海岸では離岸堤の整備により、砂浜が回復してきた。
- ・別府港海岸では高潮対策として、離岸堤を整備中、また養浜により海とふれあえる浜辺の整備を実施中。
- ・七類港海岸、田儀港海岸、浜田港海岸については整備を完了。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・施設整備済みの区間において、海岸侵食が止まり、砂浜が回復するなど事業効果の発現が見られる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・離岸堤の整備を主体とした海岸保全対策を進めているが、離岸堤のみでは侵食対策が不十分な海岸もある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・海岸により海岸侵食や堆積のメカニズムが異なり、様々な対策が求められる。

③原因を解消するための「課題」

- ・離岸堤工事に併せ、航路浚渫した砂を養浜に使用するサンドリサイクルなどを行い、侵食防止対策を効果的に進める必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・益田港海岸・久手港海岸では、離岸堤工事に併せ、航路浚渫した砂を養浜に使用するサンドリサイクルなどを行い、侵食防止対策を効果的に進めて行く。
- ・三隅港海岸では、離岸堤3基が完成し、今後突堤と養浜の整備を進めて行く。
- ・別府港海岸では、養浜により海とふれあえる浜辺を整備しており、残る離岸堤の整備を急ぐ。